

ファミリーバドミントン

概要

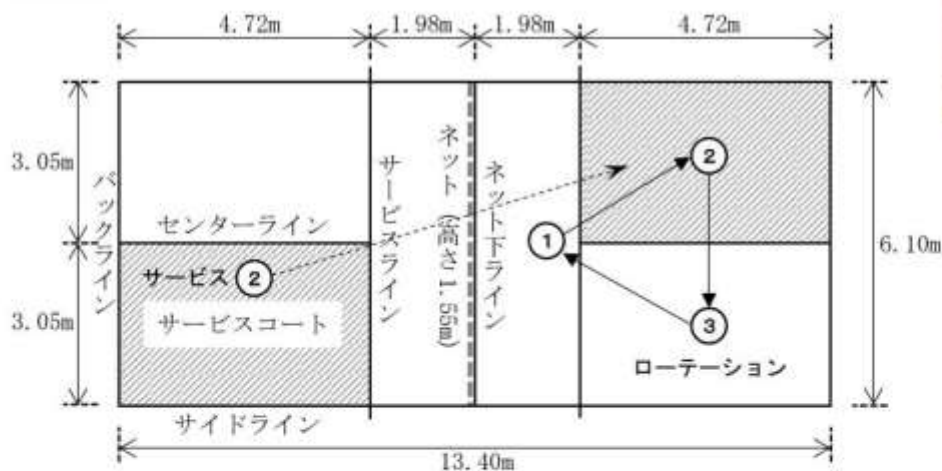
ファミリーバドミントンは、昭和63年に長岡京市が、手軽にバドミントンを親しめるように考案したニュースポーツで、スポンジボールに羽根が付いたシャトルを短めのラケットで打ち合う競技です。打ち込み（スマッシュ）が禁止なので、初めての人でもラリーが続きます。

用具

ラケット：シャフトが短く、手のひらで打つような感覚でシャトルが打てます。

シャトル：スポンジボールに羽根が付いているのでスピードが抑えられます。

コート



バドミントンのダブルスコートを使用します。

ゲームの進め方

1. ジャンケン等で最初のサービスを取るか、コートを取るかを決めます。
2. コート内の競技者は3人で、前衛1人、後衛2人です。
3. サービスは、後衛右側②の競技者がサービスコートから対角の相手のサービスコートへ打ちます。サービスはフォアハンドで腰から下及び手首より下で打ち、ネットインは認められます。サービスを受ける相手チームの競技者は、後衛右側②の人です。
4. シャトルは2回以内で相手コートへ返します。ラリー中にシャトルを打った後の軌道が水平よりも下になった場合は、打ち込みの反則になります。後衛はサービスラインよりも前に出ることはできません。前衛はオールコートでプレー可能です。
5. 得点はラリーポイント制で、サーブ権を得たチームは、時計回りにローテーションします。
6. 15点を先取したチームが、そのセットの勝者となります。1ゲームは3セットマッチとし、2セット先取したチームがゲームの勝者となります。